



御衣祭／吉田城下最大の祭として明治8年まで続いていたが、中断し、昭和22年に再興され今日に至っています。今年の例祭日は5月14日(月)・15日(火)

## 栄校区

### 市内有数の文教地区の

### 「さかえ歴史と自然の道」

栄校区は昭和27(1952)年、栄小学校の開校に伴い、福岡校区から分かれて誕生しました。戦前、この地域には陸軍の駐屯地や演習場があり、その影響で保育園から大学まである市内随一の文教・住宅地区として発展してきました。「さかえ歴史と自然の道」は、市政施行100周年記念事業」と

## あのまち

豊橋駅から北方面、豊橋の右手にこんもりとした森が見えます。これが白鳳期に創建されたといわれる湊神明社です。このあたりは古くから伊勢神宮の荘園「吉田御園」で、神宮の神御衣祭の使用品として絹織物を奉納して来ました。社伝によると1615(元和元)年頃から、三河大野の赤引の生糸を用いて三ヶ日町神戸庄岡本村の初生衣神社の神服部氏が織りあげた絹織物(御衣)を、本坂峠を越えて田町(現在の湊町)神明

## このまち

さかえ歴史と自然の道を歩こう

よはし100祭」として取り組んだ事業のひとつで、駅など4か所の案内板の設置と情報満載のウォーキングマップを作成しました。「さかえ歴史と自然の道(ウォーキングコース)」はかけがえのない歴史建造物や自然を地域の共有財産として保存するとともに、より良いまちづくり役に立っています。

### 人と物が織り成す文化 「御衣祭」と「湊神明社」

社に運びこみ、祭典の後、風待ちして船町河岸から「太一御用」の幟を押し立てて伊勢神宮へ奉納していました。境内の庭園、池の中央には茶人・山田宗備が築島した蓬萊之島と築島弁天社があり、「田町の弁天様」として広く親しまれ、古くは技芸の神として吉田の技芸を習得しようとする人々の崇敬が厚く、多くの寄進がありました。こ

の蓬萊之島の一隅には、松尾芭蕉が門弟の越人と共に渥美郡保美に蟄居中の門弟の杜国を訪ねて、吉田で投宿した際に詠んだといわれる「寒けれど二人寝る夜ぞ頼もしき」の句碑が桜御影石で建てられています。なお、弁天様のお使いは蛇とされているため、巳年には特別御開帳が行われています。▼問合せ 湊神明社氏子総代 ☎53・2901河合

## 松葉校区



高師緑地／鈴木悦・田村俊子文学碑 明治・大正に活躍した作家夫妻の碑で撰文は瀬戸内寂聴によるもの

## 市民病院コーナーが始まります



最近、地方での医師不足に関するニュースが世間を賑わせています。

医師不足の第一の原因として、医学の進歩と細分化があげられます。医学が進歩し、分野を細分化すればするほど担当医師が必要となります。医師の数は最近20年間で約2倍になりましたが、その間の医学進歩に伴う分野の細分化はその数倍に及びました。次に、医師が勤務先を以前より自由に選択できるようになりました。その結果、生活に便利な都会(中部地区では名古屋近辺)の病院を選ぶことが多くなり、地方病院への赴任が敬遠され始めました。一方で、24時間高度な医療を求められる勤務体制に医師が疲れ、病院から立ち去りつつあることも事実です。

今後、当院が高い機能を備えた病院であり続けるためには、豊橋を魅力ある市とし、スタッフの責任で魅力ある病院を築き上げることが求められています。このコーナーでは診療科からの最新情報や健康アドバイスなどを紹介し、皆さまのお役に立てればと考えています。

(市民病院副院長 岡村正造)

# 歩いてみたい豊橋

歴史編

## 牛川の渡しうしかわわたし（牛川町〜大村町）

東三河の母なる川「豊川とよがわ」には、かつては多くの渡し舟が存在していました。明治以後、徐々に豊川に橋が架けられるようになり、渡船場は時代とともに姿を消し、現在ではこの「牛川の渡し」だけとなりました。

現在、豊橋市道として運行している「牛川の渡し」の歴史は古く、その起源は不明ですが、平安時代からあったと考えられます。

牛川と大村を結ぶ「牛川の渡し」は、明治末期に下川村営となり、下川村が豊橋市に合併したことで豊橋市営となつて現在に至っています。現在の船は平成9年に老朽化により就航した二代目「ちぎり丸」です。竿を用いて人力で船を動かす懐かしい雰囲気を楽しめ、休日などは豊川を散策する親子連れなどに利用されています。

### ▼利用料金 無料▼利用時間

4月〜9月午前8時〜正午、午後2時〜6時、（10月〜3月は午後は1時〜5時）。悪天候により運休となることがあります。▼交通 市内電車「東八町」電停下車徒歩20分、豊鉄バス「創造大東」または「創造大正門」バス停下車徒歩10分

### ■情報提供

道路維持課 ☎51・2506  
渡船場 ☎53・5899



## 市民のひろば

### ■情報提供

上传馬町 青木哲也さん



お便りいただきました…

## まちのこえ

「わが町自慢」  
挨拶と笑顔で広げる人づくり、まちづくり

真夏の一大イベント祇園祭時には多くの人々が賑わうわが町上伝馬町も普段はとて静かな下町情緒あふれる人情味豊かな素晴らしい町です。

近ごろ、学校で起こっているいじめ問題などのニュースが多く、日々愁いております。そんな中ある日曜日の朝、ふと朝の空気を吸いに軒先に出てみると、

「ゆうびんやさん♪ゆうびんやさん♪はがきが〇枚落ちました♪拾ってください 一枚二枚三枚♪ありがとさん♪」

と歌う元気な声が耳に飛び込んできました。大きい子を中心に小さい子が見ても楽しそうに遊んでいる姿を見て本当に嬉しく思いました。私も子どものころを思い出しながら、とても気持ちのよい朝の空気を深々と吸わしてもらいました。

幼稚園や学校に送り出す笑顔のママさんたち、協力するおじいちゃんやおばあさんたち、とても気持ちのよい連携プレーです。おかげで子どもたちは学校の行き帰りをはじめいつも明るく挨拶をしてくれます。

挨拶は地域ふれあいの基本です。このよい子たちに元気づけられる毎日です。

### ●このコーナーに、あなたのご意見・情報をお寄せください●

見どころ、イベント、ちょっといい話など身近な話題をお寄せください。※住所・氏名・電話番号を明記してください  
広報広聴課（〒440-8501 住所不要 ☎56・5711 国kohokocho@city.toyohashi.lg.jp）

### 豊橋市内の2月の交通事故(人身)

[ ] は昨年同月、( ) は今年の合計

- 件数 275件[296件] ( 566件)
- 死者 2人[ 1人] ( 5人)
- 傷者 315人[337人] ( 658人)

### 豊橋市の人口と世帯

(平成19年3月1日現在)

- 人口 382,401人 (前月比 17人減)  
[男191,305人/女191,096人]
  - 世帯 144,893世帯 (前月比 82世帯増)
- ※このうち外国人は19,291人/11,149世帯

### 今月の納税

国民健康保険税 第1期分  
納期限 5月1日(火)

早めにお近くの金融機関（郵便局は口座振替のみ）で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。口座振替の方は、振替日（納期限）の前日までに預金残高の確認をお願いします。

問合せ先 納税課（☎51・2235）